

HIDAMON Vol.2

～飛騨の隠れた魅力を発掘～



この人にインタビュー!

有限会社 砂原石材
砂原 吉浩さん



▲最近工場の隣にオープンしたショールーム。こちらはさまざまな種類の石や溶岩プレートが展示してある。



▲溶岩プレートは3種類の形状が。屋外向けかと思う方もいるが、カセットコンロで利用するのに最適なサイズになっている。



▲均等で美しく彫られている溝だが、熟練の職人さんの手作業によって一つ一つ削られている。

第2回は、古川町杉崎の『砂原石材』をご紹介します。なんと、親子5代に渡り、脈々と石を扱ってきた超老舗。その砂原石材代表の砂原吉浩さんは『石のプロ』でありながら、密かに新たな風を起そうとしている。

1つ目は、飛騨の溶岩を使った『溶岩プレート 美味焼き(うま焼き)』。こちらは、昨年販売を始めて、今年度は昨年より売上が伸びてきているそう。商品名の通り、野菜やお肉などの食材が通常の網焼きよりも美味しく焼ける『溶岩プレート』。『溶岩』といえば、山梨などが有名なんです。実は飛騨は良質な溶岩の宝庫なんです。全てが地元のもので賄えるわけではありませんが、地元にあるものを極力活用しています」と砂原さんは語る。

『溶岩のプレートは熱が伝わりやすく、冷めにくい。そして、油なども少なく焼けて、お手入れも楽ちんです。野菜嫌いな子供がこのプレートで焼くと美味しく食べてくれるという嬉しいお話もあります。一度食べてみてもらえればわかると思います』そんな溶岩プレートだが、ネット販売では全国の皆さんから大好評頂いているそう。時には、家族で溶岩プレートを囲んで、地元の食材を楽しむ贅沢なひと時を過ごしてみたいものだ。

2つ目は『墓守サービス』。こちらは、飛騨にお墓があるがなかなかお掃除など出来ない方からのお問い合わせが多く、新たに始めたものだそうです。お墓によってコンディションはさまざまなので、お墓の状況をチェックした上で最適なサービスを提案。『地元を離れる方でも飛騨のお墓を気にしている方は意外と多いですよ。そういった方がお墓参りをしたくてもなかなかできず、お掃除もできなくて足が遠のいてしまっているのが寂しいな。こちらに来れない方でも、安心して墓掃除は任せていただいで、安らいでお参りに来てもらえるようになってほしいというのが一番の想いですね』。

時代に合わせて色々なサービスやモノを開発されている砂原さん。今後も砂原さんの動きから目が離せない。



▲野菜やお肉などなんでもじんわりと美味しく焼ける溶岩プレート。ふるさと納税の返礼品としても11月から登録され、県外の方からも申し込みが多数入っている。



▲市外に住んでいても飛騨市のお墓の見守りや掃除をしてくれるサービスを開始。最近ふるさと納税でも受付開始。神岡町は神岡衛生社が対応する形で、2つの事業者で連携してサービスを提供。

人口の動き (12月1日現在 住民登録人口)

男	女	計	世帯数
11,743	12,564	24,307	8,894
出生	12	転入	27
死亡	22	転出	52

消防の状況 (11月30日現在)

	火災	救急
飛騨市	10	1033
その他 (管外出動)	1	2
前月比	0	79

交通事故の状況 (11月30日現在)

	人身交通事故		物損 交通事故
	件数	死者 傷者	
本年累計	30	0 55	461
昨年同期	19	4 30	495
増減	11	-4 25	34



●発行/平成30年12月18日 飛騨市役所 ●編集/企画部 秘書広報課 ●印刷/有限会社村坂印刷

〒509-4292 岐阜県飛騨市古川町本町2番22号

☎(0577) 73-2111

🌐http://www.city.hida.gifu.jp/